

歯科衛生士		学科		3年課程				1		年	
科目名	心理学ⅠA							学期	前		期
担当教員	山田 尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的	人間の心理的特性や行動のメカニズムを学習する。										
授業内容	心理学の基本概念やコミュニケーションの重要性を理解する。										
学習目標	患者対応に必要な心理学の知識と技術を理解する。										
使用テキスト											
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	心理学の基礎(心理学の概要と歴史)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
2	発達心理学(ライフステージごとの心理的变化)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
3	認知心理学(記憶・思考・判断の仕組み)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
4	感情と動機づけ(感情の働きとモチベーション)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
5	パーソナリティ心理学(性格と行動の関係)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
6	対人コミュニケーション(非言語コミュニケーションを含む)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
7	ストレスとメンタルヘルス(ストレスの影響と対処法)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
8	患者心理と歯科治療(歯科治療における患者の心理)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
9	カウンセリングの基本(傾聴・共感・アドバイスの技法)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
10	高齢者の心理(老年期の心理的特徴とケア)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
11	小児の心理(子どもの発達と歯科治療の対応)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
12	障がい者の心理(障がいを持つ患者の心理と対応)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
13	医療従事者のメンタルケア(バーンアウトとセルフケア)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
14	歯科医療における心理学の応用(実践事例とケーススタディ)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
15	まとめと振り返り(総復習とディスカッション)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
	評価項目/割合		評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題	30 %	提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。								
	2. 授業姿勢	30 %	積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。								
	3. テストその他	40 %	理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

科 目 名	心 理 学 I A							学 期	前 期
担当教員	山田 尚代	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2
学習目的	人間の心理的特性や行動のメカニズムを学習する。								
授業内容	心理学の基本概念やコミュニケーションの重要性を理解する。								
学習目標	患者対応に必要な心理学の知識と技術を理解する。								
使用テキスト									
週数	授業計画					事前・事後の学習			
1	医療コミュニケーションの基本(信頼関係を築くための基本概念)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
2	対人認知とバイアス(人の第一印象と無意識の偏見)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
3	カウンセリング心理学(傾聴・共感・受容のスキル)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
4	非言語コミュニケーション(表情・ジェスチャー・視線の重要性)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
5	患者との信頼関係構築(安心感を与える言葉と態度)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
6	医療従事者間のチームワーク(ストレスの少ない職場環境作り)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
7	ストレスマネジメント(医療従事者が実践できる心理的ケア)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
8	クレーム対応の心理学(患者の不安を和らげる対応法)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
9	コミュニケーション障害と対処法(話しにくい患者との関わり方)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
10	高齢者・認知症患者との対話(加齢に伴う心理的変化への理解)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
11	小児の対応と保護者との関係(子どもの発達と適切な接し方)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
12	多文化コミュニケーション(異文化背景の患者対応のポイント)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
13	終末期患者とのコミュニケーション(心理的ケアと共感的対話)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
14	医療倫理と心理学(倫理的な判断と心理的影響の関係)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
15	ケーススタディと総復習(実際の事例をもとにしたディスカッション)	【事前】	テキストの予習						
		【事後】	該当範囲の復習						
	評価項目/割合		評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題 30 %		提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。						
	2. 授業姿勢 30 %		積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。						
	3. テストその他 40 %		理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

科 目 名	ビジネスIT技術1A							学期	前 期
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
学習目的	ワープロソフトを用いた文書作成技術を学習する								
授業内容	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
学習目標	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	ワープロの基礎								
2	文書作成の基本								
3	フォーマットの設定								
4	表の作成								
5	画像挿入								
6	文書の整理								
7	見栄えの向上								
8	実践演習								
9	応用技術								
10	共同作								
11	校正技術								
12	文書の管理								
13	仕上げる技術								
14	ケーススタディ								
15	まとめ								
	評価項目/割合			評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題 40 %			提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。					
	2. 授業姿勢 30 %			積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。					
	3. テストその他 30 %			理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・ 課外授業 実施予定・ その他									

科目名	ビジネスIT技術 I B							学期	後期
担当教員	南 貴文	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1
学習目的	ワープロソフトを用いた文書作成技術を学習する。								
授業内容	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
学習目標	ワープロソフトを用いた文書作成の基本を理解する。								
使用テキスト									
週数	授業計画								
1	1. ワープロの基礎								
2	2. 文書作成の基本								
3	3. フォーマットの設定								
4	4. 表の作成								
5	5. 画像挿入								
6	6. 文書の整理								
7	7.見ばえの向上								
8	8. 実践演習								
9	9. 応用技術								
10	10. 共同作業								
11	11. 校正技術								
12	12. 文書の管理								
13	13. 仕上げの技術								
14	14. ケーススタディ								
15	15.まとめ								
	評価項目/割合			評価内容					
評価基準	1. 課題 30 %			提出期限を守り、指示に従った適切な内容であるかを評価する。					
	2. 授業姿勢 30 %			積極的な参加、発言、協調性、態度を重視し、学習意欲を評価する。					
	3. テストその他 40 %			理解度を測るための筆記試験や実技試験の得点に基づき評価する					
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。								
目標検定・課外授業実施予定・その他									

		歯科衛生士		学科		3年課程					1		年						
科 目 名		ICT演習Ⅱ A									学期		前		期				
担当教員				科目区分		専門		授業方法		演習		履修分類		必修		単位数		1	
学習目的		エクセルを活用したデータ処理技術を学習する。																	
授業内容		エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。																	
学習目標		エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。																	
使用テキスト																			
週数		授業計画																	
1		1. エクセルの基礎																	
2		2. 表作成																	
3		3. 計算式の活用																	
4		4. 関数の基礎																	
5		5. データの可視化																	
6		6. グラフ作成																	
7		7. データ分析																	
8		8. ピボットテーブル																	
9		9. マクロの基本																	
10		10. 応用技術																	
11		11. 業務活用例																	
12		12. 共同作業																	
13		13. 効率化の技術																	
14		14. ケーススタディ																	
15		15. まとめ																	
		評価項目/割合				評 価 内 容													
評 価 基 準		1. 課 題		30 %															
		2. 授業姿勢		30 %															
		3. テストその他		40 %															
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。																	
目標検定・課外授業実施予定・その他																			

歯科衛生士			学科	3年課程				1		年
科 目 名	ICT演習ⅡB							学期	後	期
担当教員		科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的										
授業内容	エクセルを活用したデータ処理技術を学習する。									
学習目標	エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。									
使用テキスト	エクセルを活用したデータ処理技術を理解する。									
週数	授業計画									
1	1. エクセルの基礎									
2	2. 表作成									
3	3. 計算式の活用									
4	4. 関数の基礎									
5	5. データの可視化									
6	6. グラフ作成									
7	7. データ分析									
8	8. ピボットテーブル									
9	9. マクロの基本									
10	10.応用技術									
11	11. 業務活用例									
12	12. 共同作業									
13	13. 効率化の技術									
14	14. ケーススタディ									
15	15. まとめ									
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容							
	1. 課 題	30 %								
	2. 授業姿勢	30 %								
	3. テストその他	40 %								
目標検定・課外授業実施予定・その他	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									

歯科衛生士			学科		3年課程			1		年	
科 目 名		ICT活用Ⅱ A						学期	前	期	
担当教員		科目区分		専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		プレゼンテーション技術とVR活用方法を学習する。									
授業内容		社会人に求められる言葉遣い、身だしなみ、基本的な敬語表現、電話対応、メール作成などのビジネスマナーの基礎を理解する。									
学習目標		プレゼンテーション技術とVR活用方法を理解する。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	1. プレゼンの基礎										
2	2. スライド作成										
3	3. レイアウトの工夫										
4	4. 文章構成										
5	5. 画像と動画活用										
6	6. スライドアニメーション										
7	7. VR技術の基礎										
8	8. VRプレゼン実習										
9	9. 説得力のある話し方										
10	10. プレゼン演習										
11	11. 参加型プレゼン										
12	12. 質疑応答技術										
13	13. 実践的事例										
14	14. ケーススタディ										
15	15. まとめ										
		評価項目/割合			評 価 内 容						
評価基準		1. 課 題		30 %							
		2. 授業姿勢		30 %							
		3. テストその他		40 %							
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科		3年課程					年
科 目 名		ビジネスマナー I A						学期	前	期
担当教員		石田 哲也	科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	
学習目的		社会人としての基本的なビジネスマナーや礼儀を学習する。								
授業内容		社会人に求められる言葉遣い、身だしなみ、基本的な敬語表現、電話応対、メール作成などのビジネスマナーの基礎を理解する。								
学習目標		日常業務に必要な基本的なビジネスマナーとコミュニケーションの基礎を理解する。								
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	1. ビジネスマナーの基礎									
2	2. 挨拶と礼儀									
3	3. 言葉遣い									
4	4. 電話応対									
5	5. メール作成									
6	6. 名刺交換									
7	7. 敬語の使い方									
8	8. 交渉技術									
9	9. ビジネスマナー実践									
10	10. 上司との関係									
11	11. 社内コミュニケーション									
12	12. 社外対応									
13	13. ケーススタディ									
14	14. 応用技術									
15	15. まとめ									
評価項目/割合			評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題		30 %							
	2. 授業姿勢		30 %							
	3. テストその他		40 %							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他										

歯科衛生士			学科		3年課程			1		年		
科 目 名		ビジネスマナー I B						学期	後	期		
担当教員		石田 哲也		科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		より高度なビジネスマナーを身につけ、実践的な対応力を学習する。										
授業内容		交渉・プレゼン・上司や取引先との関係構築、ビジネスシーンに応じた臨機応変な対応、トラブル対応など、ビジネスマナーの応用を理解する。										
学習目標		ビジネスシーンに必要な応用的なマナーや交渉術を理解する。										
使用テキスト												
週数	授業計画											
1	1.応用マナーの重要性(マナーの基本を活かす)											
2	2.ビジネスマナーの地域・国際的な違い(海外対応のポイント)											
3	3.ハイレベルな敬語と話し方(役職者・取引先への対応)											
4	4.交渉のマナーと話し方(説得力のある言葉遣い)											
5	5.来客・訪問時のマナー応用(上級者向け対応)											
6	6.クレーム対応の実践(クレームの受け方・対処法)											
7	7.異文化コミュニケーション(文化の違いを考慮した対応)											
8	8.ビジネスメール・文書の応用(フォーマルな文書作成)											
9	9.プレゼンテーション時のマナー(話し方・姿勢・表現)											
10	10.エレベーターマナー・接待マナー(フォーマルな場での立ち振る舞い)											
11	11.電話応対の応用(トラブル時の電話対応)											
12	12.ロールプレイング演習①(実際のビジネスシーンを想定)											
13	13.ロールプレイング演習②(難易度の高いシチュエーション対応)											
14	14.自己ブランディングとマナー(印象管理の技術)											
15	15.総復習とビジネスマナーテスト(実践評価)											
		評価項目/割合				評 価 内 容						
評価基準		1. 課 題		30 %								
		2. 授業姿勢		30 %								
		3. テストその他		40 %								
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年	
科 目 名		人体構造論ⅠA						学期		前 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		4	
学習目的		人体の成り立ちを理解するために、体の構造と機能、組織・発生に関する基本的知識を習得する。									
授業内容		人体の構造と機能に関する基礎知識を理解する。									
学習目標		①全身の運動系の基本的な構造について説明できる。②全身の循環器系の基本的な構造について説明できる。③全身の神経系の基本的な構造について説明できる。									
使用テキスト											
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	1. 人体の基本構造	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
2	2. 骨格系の理解	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
3	3. 筋肉系の働き	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
4	4. 循環器系の機能	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
5	5. 呼吸器系の役割	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
6	6. 消化器系の機能	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
7	7. 神経系の基本	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
8	8. 免疫系の働き	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
9	9. ホルモンと代謝	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
10	10. 感染症と予防	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
11	11. 疾病のメカニズム	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
12	12. 老化と健康	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
13	13. 運動機能	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
14	14. ケーススタディ	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
15	15. まとめ	【事前】				テキストの予習					
		【事後】				該当範囲の復習					
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容								
	1. 課 題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士 学科				3年課程						年
科 目 名		口腔構造・機能論ⅠA						学期	後	期
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		1
学習目的		口腔、顔面およびその周囲組織の成り立ちを理解するために、口腔とその周辺組織の構造と機能に関する基本的知識を習得する。								
授業内容		口腔、顔面およびその周囲の構造と機能を理解する。								
学習目標		①歯の方向用語を説明できる。歯式と歯の記号を説明できる。②切歯と犬歯の形態と構造を説明出来る。③小臼歯の形態と構造を説明出来る。④大臼歯の形態と構造を説明出来る。								
使用テキスト										
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	1. 口腔の基本構造	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
2	2. 顔面の解剖	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
3	3. 口腔の機能	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
4	4. 歯の種類と特徴	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
5	5. 咀嚼と消化	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
6	6. 唾液の役割	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
7	7. 口腔の成長	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
8	8. 口腔と全身の関係	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
9	9. 歯列の発達	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
10	10. 口腔の病気	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
11	11. 口腔の老化	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
12	12. 口腔と心理	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
13	13. 予防歯科	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
14	14. ケーススタディ	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
15	15. まとめ	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	50 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他										

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年	
科 目 名		解剖・生理学ⅡA						学期		前 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2	
学習目的		基本となるべき全身の解剖学的、生理学的知識を修得することを目的とする。									
授業内容		人体の生命維持に重要な器官系を取り上げ、その構造と機能を個々に修得し、加えて個々の器官系間での連携を生命活動として統合的に理解できるよう解説する。									
学習目標		解剖学や生理学の意義と人体の構造、機能について理解する。口腔機能が全身に及ぼす影響、作用を把握する。									
使用テキスト											
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	解剖学の意義					【事前】					
						【事後】					
2	人体の構成					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
3	骨格系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
4	筋系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
5	内臓系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
6	泌尿器系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
7	脈管系(1)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
8	脈管系(2)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
9	神経系(1)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
10	神経系(2)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
11	口腔と全身(1)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
12	口腔と全身(2)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
13	口腔と全身(3)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
14	ケーススタディ					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
15	15. まとめ					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
評価基準	評価項目/割合			評価 内 容							
	1. 課 題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年	
科 目 名		解剖・生理学ⅡB						学期		後 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2	
学習目的		基本となるべき全身の解剖学的、生理学的知識を修得することを目的とする。									
授業内容		人体の生命維持に重要な器官系を取り上げ、その構造と機能を個々に修得し、加えて個々の器官系間での連携を生命活動として統合的に理解できるよう解説する。									
学習目標		解剖学や生理学の意義と人体の構造、機能について理解する。口腔機能が全身に及ぼす影響、作用を把握する。									
使用テキスト											
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	生理学とは					【事前】					
						【事後】					
2	細胞と組織					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
3	骨格系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
4	筋系と運動					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
5	神経系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
6	循環系					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
7	呼吸					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
8	消化と吸収					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
9	生殖・発生					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
10	体温					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
11	内分泌					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
12	口腔と全身(1)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
13	口腔と全身(2)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
14	ケーススタディ					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
15	まとめ					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
評価基準	評価項目/割合			評 価 内 容							
	1. 課 題	20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士				学科		3年課程				2		年	
科 目 名		口腔病理学ⅡA								学期	前	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2		
学習目的		病気の原因、発症の機序、進展、および転帰を明らかにし、病気の予防や治療の基礎となる知見を習得する											
授業内容		病気にはどんな種類があるのか、どうして起こるのか、どのように経過するのかななどを解説する											
学習目標		①病理学を通じて病変の発生メカニズムを理解することができるようになる。②病気の診断、治療ならびに予防について考えることができる。③歯科疾患の予防や治療の基礎となる知見を習得する。											
使用テキスト													
週数	授業計画												
1	病理学総論												
2	病理論・遺伝性疾患												
3	代謝障害												
4	循環障害												
5	炎症と免疫												
6	腫瘍												
7	歯の発育異常												
8	歯の損傷と付着物												
9	う蝕												
10	歯周病												
11	歯科疾患に伴う治癒の病理												
12	口腔領域の粘膜疾患												
13	口腔領域の嚢胞、腫瘍												
14	顎骨、唾液腺												
15	まとめ												
		評価項目/割合				評 価 内 容							
評価基準		1. 課 題		20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
		2. 授業姿勢		30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
		3. テストその他		50 %									
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士				学科		3年課程				2		年	
科 目 名		口腔薬理学ⅡB								学期	後	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法		講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的		「薬は生体へどのように作用するのか」あるいは「薬は体内でどのように変化するのか」という薬理学の基礎を理解することで、歯科衛生士として必要											
授業内容		薬物治療の目指すもの、薬物の作用機序や薬物動態（吸収・分泌・代謝・排泄）、薬効に影響する因子、副作用及び取り扱いと管理について理解を深											
学習目標		細胞構造とそのメカニズム、薬理反応について理解できる。中枢、抹消神経と薬理反応について理解できる。歯科で使用する薬物について理解でき											
使用テキスト													
週数	授業計画												
1	薬理学とは？												
2	薬物動態（1）												
3	薬物動態（2）												
4	炎症と薬												
5	感染症と薬												
6	神経系の仕組み												
7	局所麻酔												
8	免疫と薬												
9	生活習慣病												
10	復習												
11	歯科薬理学												
12	服薬指導												
13	歯科衛生士と薬（1）												
14	歯科衛生士と薬（2）												
15	まとめ												
		評価項目／割合				評 価 内 容							
評 価 基 準		1. 課 題		20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
		2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキストなどが机上に整っているか）							
		3. テストその他		50	%								
		課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士 学科				3年課程				2		年							
科 目 名		口腔微生物学ⅡA							学期		前 期						
担当教員		科目区分		専門		授業方法		講義		履修分類		必修		単位数		2	
学習目的		口腔の常在微生物とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する															
授業内容		微生物の性質、生態を含め病原微生物学総論を学ぶ。さらに感染と発病の関係や感染防御のための免疫・感染予防・感染の検査方法、治療に関する基礎知識に															
学習目標		細菌の形態、構造および代謝、増殖の仕組みについて理解する。バイオフィルムについて理解を深める。感染と発症、微生物の病原因子について、宿主の抵抗性															
使用テキスト																	
週数		授業計画								事前・事後の学習							
1		微生物学概論								【事前】							
										【事後】							
2		疾病と微生物（1）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
3		疾病と微生物（2）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
4		疾病と微生物（3）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
5		微生物の病原性（1）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
6		微生物の病原性（2）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
7		微生物の病原性（3）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
8		宿主防御機構と免疫（1）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
9		宿主防御機構と免疫（2）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
10		宿主防御機構と免疫（3）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
11		口腔感染症（1）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
12		口腔感染症（2）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
13		口腔感染症（3）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
14		口腔感染症（4）								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
15		まとめ								【事前】		テキストの予習					
										【事後】		該当範囲の復習					
評価基準		評価項目/割合						評 価 内 容									
		1. 課 題		20 %				①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況									
		2. 授業姿勢		30 %				①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキストなどが机上に整っているか）									
		3. テストその他		50 %													
		課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。															
目標検定・課外授業実施予定・その他																	

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		口腔衛生学ⅠA							学期		前 期	
担当教員		科目区分		専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数		2	
学習目的		歯と口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組みを学修する。										
授業内容		「歯科予防処置」と「歯科保健指導」の基本となる学問であることを認識し、得られた知識を整理し修得する。										
学習目標		歯科衛生士としての個人口腔衛生の知識と技術を修得し、患者のライフステージに応じた予防と健康増進を支援するとともに、他医療職と連携をとることができる。										
使用テキスト												
週数	授業計画						事前・事後の学習					
1	口腔の健康と口腔衛生学の定義 口腔環境について					【事前】						
						【事後】					該当範囲の復習	
2	歯・口腔の付着物、沈着物 口腔清掃の意義、方法					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
3	歯科疾患の疫学					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
4	う蝕の予防					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
5	フッ化物によるう蝕の予防					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
6	歯周疾患の予防					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
7	その他の疾患・異常の予防					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
8	地域歯科保健、母子歯科保健					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
9	学校歯科保健					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
10	成人歯科保健、その他の歯科保健					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
11	歯科疾患の指数					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
12	保健情報と統計、疫学					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
13	保健情報の分析手順					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
14	保健統計の方法					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
15	まとめ					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
		評価項目/割合		評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題		20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢		30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他		50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年
科 目 名	公衆衛生学ⅠA							学期	後	期
担当教員	桑名 恵	科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	健康と予防医学の概念、人をとりまく自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学修する。									
授業内容	環境問題、感染症、生活習慣病、地域保健、母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、産業保健、精神保健等と健康との係わりについて個人や地域保健の観点から学ぶ。									
学習目標	生活環境や公衆衛生の現状を学修することで、社会生活・社会制度のもとで健康を保持増進するために必要な知識と技術を修得する。さらに、他医療職と連携をとり、公衆衛生の向上に貢献する。									
使用テキスト										
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	健康と予防の概念	【事前】								
		【事後】	該当範囲の復習							
2	疫学	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
3	人口	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
4	健康と環境1	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
5	健康と環境2	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
6	健康と環境3	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
7	感染症	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
8	食品と健康	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
9	地域保健・公衆衛生	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
10	母子保健	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
11	学校保健	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
12	成人保健・産業保健	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
13	高齢者保健	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
14	精神保健・災害保健・国際保健	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
15	まとめ	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
評価基準	評価項目/割合		評価内容							
	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	50 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他										

歯科衛生士 学科				3年課程				2		年		
科 目 名		衛生行政・社会福祉ⅡA							学期		前 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2		
学習目的		衛生行政、社会福祉行政(法律)は、患者さんが安心して歯科診療を受けるためのものであると同時に、歯科衛生士として歯科診療に携わる皆さん守るもの。また、										
授業内容		日本の保健・医療・福祉制度と医事法制を理解し、歯科衛生の在り方を考える態度を養うために、歯科衛生士に必要な法律・制度に関する基本的知識を習得する。										
学習目標		① 歯科衛生士を目指す学生が法律を学ぶ目的が説明できるようになる。② 歯科関連法規を詳しく説明できるようになる。③ 薬事衛生法規の概略を説明できるようになる。										
週数	授業計画					事前・事後の学習						
1	衛生行政、法律、国内または色湯の動向を学ぶ意義					【事前】						
						【事後】						該当範囲の復習
2	行政の組織					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
3	法制概論					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
4	医師法、歯科医師法、歯科衛生士法					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
5	医療法					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
6	薬事法					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
7	地域保健関係・社会保障関係・厚生関係					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
8	国民の健康と傷病					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
9	社会保障制度					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
10	社会福祉行政					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
11	生活保護と法規					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
12	児童と家庭・障害者の福祉・高齢者の福祉					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
13	保健情報の分析・保健統計の方法					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
14	情報と倫理					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
15	まとめ					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
評価基準	評価項目/割合			評 価 内 容								
	1. 課 題	20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %										
	3. テストその他	50 %										
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		歯科衛生士概論						学期		前 期		
担当教員		山田 尚代		科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数 2		
学習目的		歯科衛生を実践して人びとの健康づくりを支援する者となるために、保健医療人としての基本的態度について理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態										
授業内容		歯科衛生士の定義・業務を学ぶ。また、クリティカルシンキングのための歯科衛生過程および業務記録を説明でき、多職種とのチーム医療について理解する。										
学習目標		①歯科衛生士の定義を述べるができる。②歯科衛生業務の構成要素を説明できる。③業務実践にあたって、クリティカルシンキング・批判的に思考する意義を										
使用テキスト												
週数	授業計画						事前・事後の学習					
1	歯科衛生士について							【事前】				
								【事後】				
2	歯科衛生学とは							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
3	歯科衛生の歴史							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
4	歯科衛生活動のための理論1							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
5	歯科衛生活動のための理論2							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
6	歯科衛生過程1							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
7	歯科衛生過程2							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
8	歯科衛生士法と歯科衛生士業務							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
9	歯科衛生士と医療倫理1							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
10	歯科衛生士と医療倫理2							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
11	歯科衛生士と医療倫理3							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
12	歯科衛生士の活動と組織1							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
13	歯科衛生士の活動と組織2							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
14	海外における歯科衛生士							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
15	まとめ							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
評価基準	評価項目/割合			評価 内 容								
	1. 課 題	20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	50 %										
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		臨床歯科医学ⅠA							学期		前 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		4		
学習目的		歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。										
授業内容		歯科診療における口腔外科学、麻酔学、歯周病学、歯内保存学、補綴学、矯正歯科、小児歯科、高齢者歯科、障害者歯科の基本的な流れを中心に治療対象、治療法を学ぶ。										
学習目標		歯科診療所での日常、各ライフステージに関わる歯科臨床と歯科衛生士の関係など、歯科医療を担う一員となるための理解を深めることができるように、歯科衛生士としての役割を認識する。										
使用テキスト												
週数	授業計画						事前・事後の学習					
1	口腔外科							【事前】				
								【事後】				
2	口腔外科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
3	麻酔学							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
4	放射線学							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
5	歯科保存							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
6	歯科補綴							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
7	歯科補綴							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
8	歯周病							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
9	歯周病							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
10	矯正歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
11	矯正歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
12	小児歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
13	高齢者学							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
14	障害者歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
15	まとめ							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
評価基準	評価項目/割合			評価内容								
	1. 課題	20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	50 %										
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		臨床歯科医学ⅠB							学期		後 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2		
学習目的		歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解する。										
授業内容		歯科診療における口腔外科学、麻酔学、歯周病学、歯内保存学、補綴学、矯正歯科、小児歯科、高齢者歯科、障害者歯科の基本的な流れを中心に治療対象、治療法を学ぶ。										
学習目標		歯科診療所での日常、各ライフステージに関わる歯科臨床と歯科衛生士の関係など、歯科医療を担う一員となるための理解を深めることができるように、歯科衛生士としての役割を認識する。										
使用テキスト												
週数	授業計画						事前・事後の学習					
1	口腔外科							【事前】				
								【事後】				
2	口腔外科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
3	麻酔学							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
4	放射線学							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
5	歯科保存							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
6	歯科補綴							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
7	歯科補綴							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
8	歯周病							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
9	歯周病							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
10	矯正歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
11	矯正歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
12	小児歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
13	高齢者歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
14	障害者歯科							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
15	まとめ							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
評価基準	評価項目/割合			評価内容								
	1. 課 題	20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	50	%									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士				学科		3年課程				2		年				
科 目 名		臨床歯科医学演習ⅡA									学期	前	期			
担当教員				科目区分 専門		授業方法		演習		履修分類		必修	単位数	1		
学習目的		歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、技術を身につける。														
授業内容		歯科診療における口腔外科学、麻酔学、歯周病学、歯内保存学、補綴学、矯正歯科、小児歯科、高齢者歯科、障害者歯科の基本的な流れを中心に														
学習目標		歯科診療所での日常、各ライフステージに関わる歯科臨床と歯科衛生士の関係など、歯科医療を担う一員となるための理解を深めることができるよう														
使用テキスト																
週数	授業計画															
1	臨床検査1															
2	臨床検査2															
3	臨床検査3															
4	臨床検査4															
5	まとめ															
6	画像検査1															
7	画像検査2															
8	画像検査3															
9	画像検査4															
10	まとめ															
11	口腔領域の臨床診査1															
12	口腔領域の臨床診査2															
13	口腔領域の臨床診査3															
14	口腔領域の臨床診査4															
15	まとめ															
		評価項目/割合				評 価 内 容										
評価基準		1. 課 題				①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況										
		2. 授業姿勢		30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)										
		3. テストその他		70 %												
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。														
目標検定・課外授業実施予定・その他																

歯科衛生士				学科		3年課程				2		年	
科 目 名		臨床歯科医学演習ⅡB								学期		後 期	
担当教員				科目区分 専門		授業方法 演習		履修分類 必修		単位数		1	
学習目的		歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、技術を身につける。											
授業内容		歯科診療における口腔外科学、麻酔学、歯周病学、歯内保存学、補綴学、矯正歯科、小児歯科、高齢者歯科、障害者歯科の基本的な流れを中心に学ぶ。											
学習目標		歯科診療所での日常、各ライフステージに関わる歯科臨床と歯科衛生士の関係など、歯科医療を担う一員となるための理解を深めることができるようになる。											
使用テキスト													
週数	授業計画												
1	臨床検査1												
2	臨床検査2												
3	臨床検査3												
4	臨床検査4												
5	まとめ												
6	画像検査1												
7	画像検査2												
8	画像検査3												
9	画像検査4												
10	まとめ												
11	口腔領域の臨床診査1												
12	口腔領域の臨床診査2												
13	口腔領域の臨床診査3												
14	口腔領域の臨床診査4												
15	まとめ												
評価項目/割合				評 価 内 容									
評価基準	1. 課 題		20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢		30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他		50 %										
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士				学科		3年課程			3		年	
科 目 名		臨床歯科医学演習ⅡB							学期	前	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		歯科衛生業務を行うために必要な歯に生じる疾患の種類、症状、診断法および治療法を理解し、技術を身につける。										
授業内容		歯科診療における口腔外科学、麻酔学、歯周病学、歯内保存学、補綴学、矯正歯科、小児歯科、高齢者歯科、障害者歯科の基本的な流れを中心に										
学習目標		歯科診療所での日常、各ライフステージに関わる歯科臨床と歯科衛生士の関係など、歯科医療を担う一員となるための理解を深めることができるよう										
使用テキスト												
週数	授業計画											
1	臨床検査1											
2	臨床検査2											
3	臨床検査3											
4	臨床検査4											
5	まとめ											
6	画像検査1											
7	画像検査2											
8	画像検査3											
9	画像検査4											
10	まとめ											
11	口腔領域の臨床診査1											
12	口腔領域の臨床診査2											
13	口腔領域の臨床診査3											
14	口腔領域の臨床診査4											
15	まとめ											
		評価項目/割合				評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題		20 %		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢		30 %		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他		50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				2		年
科 目 名	口腔微生物学ⅡB							学期	後	期
担当教員		科目区分	専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的	口腔の常在微生物とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態と生体の防御機構としての免疫に関する									
授業内容	微生物の性質、生態を含め病原微生物学総論を学ぶ。さらに感染と発病の関係や感染防御のための免疫・感染予防・感染の検査方法、治療に関する基礎知識に									
学習目標	細菌の形態、構造および代謝、増殖の仕組みについて理解する。バイオフィルムについて理解を深める。感染と発症、微生物の病原因子について、宿主の抵抗性									
使用テキスト										
週数	授業計画					事前・事後の学習				
1	微生物学概論	【事前】								
		【事後】	該当範囲の復習							
2	疾病と微生物(1)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
3	疾病と微生物(2)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
4	疾病と微生物(3)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
5	微生物の病原性(1)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
6	微生物の病原性(2)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
7	微生物の病原性(3)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
8	宿主防御機構と免疫(1)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
9	宿主防御機構と免疫(2)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
10	宿主防御機構と免疫(3)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
11	口腔感染症(1)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
12	口腔感染症(2)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
13	口腔感染症(3)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
14	口腔感染症(4)	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
15	まとめ	【事前】	テキストの予習							
		【事後】	該当範囲の復習							
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容							
	1. 課 題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	50 %								
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他										

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年			
科 目 名		歯科予防処置論ⅠA							学期		前	期	
担当教員		科目区分		専門	授業方法		講義	履修分類	必修	単位数		2	
学習目的		口腔の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」の予防の重要性を理解し、継続管理を行うために必要な知識、技術、態度を身につける。											
授業内容		歯科衛生士が行う予防処置の基礎知識から応用について学ぶ。う蝕・歯周病予防、フッ化物応用、シーラント処置、ブラークコントロールなどを中心に理論と実践を											
学習目標		① う蝕の発生と原因について説明できる。② う蝕予防処置について説明できる。③ 歯周病の発生と原因について説明できる。④ 歯周病予防について説明できる											
使用テキスト													
週数	授業計画							事前・事後の学習					
1	歯科予防処置の概要							【事前】					
								【事後】					該当範囲の復習
2	う蝕の基礎知識							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
3	歯周病予防の基礎知識							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
4	う蝕予防処置							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
5	歯周病予防処置							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
6	口腔内診査							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
7	歯周組織検査							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
8	SRPに必要な器具							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
9	手用スクレーパー							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
10	超音波スクレーパー・エアースクレーパー							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
11	リスクテスト							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
12	歯・歯周検査の手技							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
13	シックルスクレーパーの基本操作							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
14	シックルスクレーパーのマネキン実習							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
15	まとめ							【事前】	テキストの予習				
								【事後】	該当範囲の復習				
評価基準	評価項目/割合							評 価 内 容					
	1. 課 題		20 %					①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況					
	2. 授業姿勢		30 %					①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)					
	3. テストその他		50 %										
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		歯科予防処置論ⅠB						学期		後 期		
担当教員		科目区分		専門	授業方法	講義	履修分類	必修	単位数		2	
学習目的		口腔の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」の予防の重要性を理解し、継続管理を行うために必要な知識、技術、態度を身につける。										
授業内容		歯・口腔疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識、技術、態度を取得する。										
学習目標		① う蝕の発生と原因について説明できる。② う蝕予防処置について説明できる。③ 歯周病の発生と原因について説明できる。④ 歯周病予防について説明できる										
使用テキスト												
週数	授業計画						事前・事後の学習					
1	キュレットスケーラー							【事前】				
								【事後】				
2	キュレットスケーラー							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	テキストの予習			
3	歯面清掃・歯面研磨							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
4	口腔内診査復習							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
5	歯面清掃・歯面研磨							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
6	超音波・エアースケーラー							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
7	う蝕活動試験							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
8	う蝕活動試験							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
9	超音波・エアースケーラー							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
10	超音波・エアースケーラー							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
11	フッ化物							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
12	フッ化物							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
13	小窩裂溝							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
14	小窩裂溝							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
15	まとめ							【事前】	テキストの予習			
								【事後】	該当範囲の復習			
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容									
	1. 課 題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況									
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)									
	3. テストその他	50 %										
課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他												

歯科衛生士				学科		3年課程				2		年		
科 目 名		歯科予防処置演習Ⅱ A									学期	前	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1			
学習目的		口腔の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」の予防の重要性を理解し、継続管理を行うために必要な知識、技術、態度を身につける。												
授業内容		歯・口腔疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識、技術、態度を取得する。												
学習目標		予防処置法の使用器具の取り扱いと操作の基本を理解するために、必要な知識、技術を修得する。												
使用テキスト														
週数	授業計画													
1	マネキン実習1													
2	マネキン実習2													
3	マネキン実習3													
4	マネキン実習4													
5	マネキン実習5													
6	まとめ													
7	相互実習1													
8	相互実習2													
9	相互実習3													
10	相互実習4													
11	相互実習5													
12	相互実習6													
13	相互実習7													
14	まとめ													
15	まとめ													
		評価項目/割合				評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題	20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況										
	2. 授業姿勢	30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)										
	3. テストその他	50	%											
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。													
目標検定・課外授業実施予定・その他														

歯科衛生士 学科				3年課程				2		年	
科 目 名		歯科予防処置演習ⅡB							学期	後	期
担当教員		科目区分		専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		口腔の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」の予防の重要性を理解し、継続管理を行うために必要な知識、技術、態度を身につける。									
授業内容		歯・口腔疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識、技術、態度を取得する。									
学習目標		予防処置法の使用器具の取り扱いと操作の基本を理解するために、必要な知識、技術を修得する。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	マネキン実習1										
2	マネキン実習2										
3	マネキン実習3										
4	マネキン実習4										
5	マネキン実習5										
6	復習										
7	相互実習1										
8	相互実習2										
9	相互実習3										
10	相互実習4										
11	相互実習5										
12	相互実習6										
13	相互実習										
14	まとめ										
15	まとめ										
評価項目/割合				評 価 内 容							
評価基準	1. 課題		20	%		①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況					
	2. 授業姿勢		30	%		①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)					
	3. テストその他		50	%							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科		3年課程			3		年	
科 目 名		歯科予防処置演習ⅢA							学期	前	期
担当教員			科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		口腔の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」の予防の重要性を理解し、継続管理を行うために必要な知識、技術、態度を身につける。									
授業内容		歯・口腔疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識、技術、態度を取得する。									
学習目標		予防処置法の使用器具の取り扱いと操作の基本を理解するために、必要な知識、技術を修得する。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	マネキン実習1										
2	マネキン実習2										
3	マネキン実習3										
4	マネキン実習4										
5	マネキン実習5										
6	まとめ										
7	相互実習1										
8	相互実習2										
9	相互実習3										
10	相互実習4										
11	相互実習5										
12	相互実習6										
13	相互実習7										
14	まとめ										
15	まとめ										
評価基準	評価項目/割合				評 価 内 容						
	1. 課 題		20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
	2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)						
	3. テストその他		50	%							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科		3年課程			3		年	
科 目 名		歯科予防処置演習ⅢB							学期	後	期
担当教員			科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		口腔の2大疾患である「う蝕」と「歯周疾患」の予防の重要性を理解し、継続管理を行うために必要な知識、技術、態度を身につける。									
授業内容		歯・口腔疾患を予防して健康状態を維持・増進させるために必要な専門的理論に関する知識、技術、態度を取得する。									
学習目標		予防処置法の使用器具の取り扱いと操作の基本を理解するために、必要な知識、技術を修得する。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	マネキン実習1										
2	マネキン実習2										
3	マネキン実習3										
4	マネキン実習4										
5	マネキン実習5										
6	まとめ										
7	相互実習1										
8	相互実習2										
9	相互実習3										
10	相互実習4										
11	相互実習5										
12	相互実習6										
13	相互実習7										
14	まとめ										
15	まとめ										
評価項目/割合			評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題	20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	50	%								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年	
科 目 名		歯科保健指導論ⅠA						学期		前 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2	
学習目的		多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。									
授業内容		個人、集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識を修得									
学習目標		① 歯科保健指導の意義と目標を説明できる。② 歯科衛生過程の進め方を理解する。③ 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理を理解する。医療面接									
使用テキスト											
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	歯科保健指導の概要					【事前】					
						【事後】					
2	保健行動支援の基礎知識					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
3	口腔衛生管理(口腔衛生指導法)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
4	その他の清掃方法					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
5	口腔清掃(ブラッシング方法)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
6	口腔清掃指数					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
7	口腔清掃管理(染色)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
8	復習					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
9	歯科衛生過程(概要)					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
10	歯科衛生過程					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
11	歯科衛生過程					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
12	歯科衛生過程					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
13	歯科衛生過程					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
14	歯科衛生過程					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
15	まとめ					【事前】	テキストの予習				
						【事後】	該当範囲の復習				
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容								
	1. 課 題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他											

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		歯科保健指導論ⅠA							学期		後 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2		
学習目的		多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。										
授業内容		個人、集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識を修得										
学習目標		① 歯科保健指導の意義と目標を説明できる。② 歯科衛生過程の進め方を理解する。③ 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理を理解する。医療面接										
使用テキスト												
週数	授業計画					事前・事後の学習						
1	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理					【事前】						
						【事後】						該当範囲の復習
2	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
3	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
4	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
5	歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
6	歯科過程の進み方					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
7	歯科過程の進み方					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
8	歯科過程の進み方					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
9	歯科過程の進み方					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
10	歯科過程の進み方					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
11	歯科過程の進み方					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
12	ライフステージに応じた歯科衛生介入					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
13	ライフステージに応じた歯科衛生介入					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
14	ライフステージに応じた歯科衛生介入					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
15	まとめ					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
評価基準	評価項目/割合				評 価 内 容							
	1. 課 題	20 %			①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30 %			①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	50 %										
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士				学科		3年課程			2		年	
科 目 名		歯科保健指導演習ⅡA							学期	前	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。										
授業内容		個人、集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる。										
学習目標		歯科保健指導とは、個々の生活行動を健康維持増進に向かい変容させることである。卒業後において歯科衛生士として臨床及び公衆歯科衛生活動										
使用テキスト												
週数	授業計画											
1	対象別の歯科衛生介入											
2	対象別の歯科衛生介入											
3	全身疾患と口腔健康管理											
4	全身疾患と口腔健康管理											
5	症例別口腔衛生指導											
6	症例別口腔衛生指導											
7	症例別口腔衛生指導											
8	症例別口腔衛生指導											
9	症例別口腔衛生指導											
10	症例別口腔衛生指導											
11	症例別口腔健康管理のまとめ											
12	周術期の口腔健康管理1											
13	周術期の口腔健康管理2											
14	周術期の口腔健康管理23											
15	まとめ											
		評価項目/割合				評 価 内 容						
評価基準		1. 課 題				①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
		2. 授業姿勢		30 %		①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキストなどが机上に整っているか）						
		3. テストその他		70 %								
		課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士				学科		3年課程			2		年								
科 目 名		歯科保健指導演習ⅡB							学期		後		期						
担当教員				科目区分		専門		授業方法		演習		履修分類		必修		単位数		1	
学習目的		多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。																	
授業内容		個人、集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる。																	
学習目標		歯科衛生士として臨床及び公衆歯科衛生活動の中で対象者に寄り添った適切な支援等ができるよう基礎知識、技術を学ぶ。また、2年次は特に超高齢者に対する支援に重点を置く。																	
使用テキスト																			
週数		授業計画																	
1		対象別の歯科衛生介入																	
2		対象別の歯科衛生介入																	
3		全身疾患と口腔健康管理																	
4		全身疾患と口腔健康管理																	
5		症例別口腔衛生指導																	
6		症例別口腔衛生指導																	
7		症例別口腔衛生指導																	
8		症例別口腔衛生指導																	
9		症例別口腔衛生指導																	
10		症例別口腔衛生指導																	
11		症例別口腔健康管理のまとめ																	
12		周術期の口腔健康管理1																	
13		周術期の口腔健康管理2																	
14		医療面談																	
15		まとめ																	
		評価項目/割合					評 価 内 容												
評価基準		1. 課 題		30	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況													
		2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキストなどが机上に整っているか）													
		3. テストその他		40	%														
		課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。																	
目標検定・課外授業実施予定・その他																			

歯科衛生士			学科	3年課程				3		年	
科 目 名		歯科保健指導演習ⅢA							学期	前	期
担当教員			科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。									
授業内容		個人、集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる。									
学習目標		歯科衛生士として臨床及び公衆歯科衛生活動において対象者への適切な支援や介入ができるよう基礎知識、技術を学び、健康に関する行動変容へ働きかける。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	配慮を要する者への歯科衛生介入										
2	配慮を要する者への歯科衛生介入										
3	配慮を要する者への歯科衛生介入										
4	訪問における歯科衛生士の役割										
5	訪問における歯科衛生士の役割										
6	訪問における歯科衛生士の役割										
7	症例別口腔ケア演習										
8	症例別口腔ケア演習										
9	症例別口腔ケア演習										
10	演習各症例の振り返りまとめ										
11	歯科衛生過程演習										
12	歯科衛生過程演習										
13	歯科衛生過程演習										
14	症例発表										
15	まとめ										
評価項目/割合			評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題	30 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)								
	3. テストその他	40 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科	3年課程				3		年	
科 目 名		歯科保健指導演習ⅢB							学期	後	期
担当教員			科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。									
授業内容		個人、集団を対象として生活習慣や態度を望ましい歯科保健行動にするために必要なプロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる。									
学習目標		歯科衛生士として臨床及び公衆歯科衛生活動において対象者への適切な支援や介入ができるよう基礎知識、技術を学び、健康に関する行動変容へ働きかける。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	配慮を要する者への歯科衛生介入										
2	配慮を要する者への歯科衛生介入										
3	配慮を要する者への歯科衛生介入										
4	訪問における歯科衛生士の役割										
5	訪問における歯科衛生士の役割										
6	訪問における歯科衛生士の役割										
7	症例別口腔ケア演習										
8	症例別口腔ケア演習										
9	症例別口腔ケア演習										
10	演習各症例の振り返りまとめ										
11	歯科衛生過程演習										
12	歯科衛生過程演習										
13	歯科衛生過程演習										
14	症例発表										
15	まとめ										
評価項目/割合			評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題	30	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
	2. 授業姿勢	30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキストなどが机上に整っているか)							
	3. テストその他	40	%								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年		
科 目 名		歯科診療補助論ⅠA						学期		前 期		
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2		
学習目的		歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。										
授業内容		歯科診療補助の業務範囲について理解する。また感染予防や廃棄物の処理方法など診療室の医療安全管理について、演習（グループワーク、プレゼンテーション）										
学習目標		歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。										
使用テキスト												
週数	授業計画						事前・事後の学習					
1	診療補助の意義 ユニットの構造について(ヨシダ)					【事前】						
						【事後】					該当範囲の復習	
2	医療安全と感染予防					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
3	グローブ、マスク着脱手順、手指消毒					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
4	診療室の基礎知識 患者対応					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
5	共同動作1（概念、ポジショニング、ライティング、患者誘導）					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
6	印象材 アルジネート					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
7	寒天、その他の印象材 歯肉圧排					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
8	模型材（石膏）					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
9	印象採得から模型製作					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
10	トリミング					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
11	共同動作2 バキューム操作基本（講義・ファントム）					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
12	共同動作3 口腔内洗浄、バキューム操作（相互）					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
13	共同動作4					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
14	衛生材料					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
15	まとめ					【事前】	テキストの予習					
						【事後】	該当範囲の復習					
評価基準	評価項目/割合		評価内容									
	1. 課題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況									
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキスト、機材などが整っているか）									
	3. テストその他	50 %										
	課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検 定・課外 授業実 施予定・ その他												

歯科衛生士 学科				3年課程				1		年	
科 目 名		歯科診療補助論ⅠB						学期		後 期	
担当教員		科目区分 専門		授業方法 講義		履修分類 必修		単位数		2	
学習目的		歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。									
授業内容		歯科診療補助の業務範囲について理解する。また感染予防や廃棄物の処理方法など診療室の医療安全管理について、演習(グループワーク、プレゼンテーション)									
学習目標		歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。									
使用テキスト											
週数	授業計画					事前・事後の学習					
1	印象採得(ファントム)	【事前】									
		【事後】	該当範囲の復習								
2	印象採得(ファントム)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
3	印象採得(ファントム)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
4	印象採得(ファントム)	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
5	相互実習	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
6	相互実習	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
7	相互実習	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
8	相互実習	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
9	相互実習	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
10	スタディーモデル	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
11	スタディーモデル	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
12	合着材	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
13	合着材	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
14	仮封材	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
15	まとめ	【事前】	テキストの予習								
		【事後】	該当範囲の復習								
評価基準	評価項目/割合		評 価 内 容								
	1. 課 題	20 %	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況								
	2. 授業姿勢	30 %	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、機材などが整っているか)								
	3. テストその他	50 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士				学科		3年課程			3		年	
科 目 名		歯科診療補助ⅢA							学期	前	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	2	
学習目的		歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。										
授業内容		歯科診療で頻用される材料や器具の取り扱いについて実習する。項目によって異なりますが、模型を使用しての実習や相互実習を数回ずつ行い、技										
学習目標		歯科及び歯科衛生士の役割について理解を深めるために、学んだ知識と技術を統合して自らが学んでいける能力を構築する。										
使用テキスト												
週数	授業計画											
1	保存修復											
2	歯内療法											
3	歯周外科											
4	歯科補綴											
5	歯科麻酔											
6	矯正歯科											
7	小児歯科											
8	妊婦											
9	高齢者											
10	障害者											
11	復習											
12	実習											
13	実習											
14	実習											
15	まとめ											
		評価項目/割合				評 価 内 容						
評価基準		1. 課 題		20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況						
		2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度（私語、居眠り禁止） ②積極的な学習参加（発言や質問）状況 ③授業準備状況（授業開始時にテキスト、機材などが整っているか）						
		3. テストその他		50	%							
		課題・テスト（その他検定など）はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士				学科		3年課程				2		年	
科 目 名		歯科診療補助ⅡB								学期		後 期	
担当教員			科目区分 専門		授業方法 演習		履修分類 必修		単位数		2		
学習目的		歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。											
授業内容		歯科診療で頻用される材料や器具の取り扱いについて実習する。項目によって異なりますが、模型を使用しての実習や相互実習を数回ずつ行い、技											
学習目標		歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。											
使用テキスト													
週数		授業計画											
1		保存修復											
2		歯内療法											
3		歯周外科											
4		歯科補綴											
5		歯科麻酔											
6		矯正歯科											
7		小児歯科											
8		妊婦											
9		高齢者											
10		障害者											
11		復習											
12		実習											
13		実習											
14		実習											
15		まとめ											
		評価項目/割合				評 価 内 容							
評 価 基 準		1. 課 題		20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況							
		2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、機材などが整っているか)							
		3. テストその他		50	%								
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士				学科		3年課程				3		年					
科 目 名		歯科診療補助ⅢA								学期		前 期					
担当教員				科目区分 専門		授業方法		演習		履修分類		必修		単位数		2	
学習目的		歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。															
授業内容		歯科診療で頻用される材料や器具の取り扱いについて実習する。項目によって異なりますが、模型を使用しての実習や相互実習を数回ずつ行い、技															
学習目標		歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。															
使用テキスト																	
週数		授業計画															
1		暫間被覆冠作製1(直接法)															
2		セメント練和 (用途別①仮封用、②覆髄用)～受渡															
3		バキューム操作復習(相互)															
4		印象採得1 水平位操作(全顎)															
5		印象採得2(寒天印象採得)															
6		ラバーダム防湿操作															
7		口腔咽頭吸引															
8		口腔咽頭吸引															
9		WAX・金属・セラミックス															
10		ホワイトニング															
11		ホワイトニング															
12		実習															
13		実習															
14		まとめ															
15		まとめ															
		評価項目/割合				評 価 内 容											
評 価 基 準		1. 課 題		20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況											
		2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(授業開始時にテキスト、機材などが整っているか)											
		3. テストその他		50	%												
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。															
目標検定・課外授業実施予定・その他																	

歯科衛生士				学科		3年課程				3		年					
科 目 名		歯科診療補助ⅢB								学期		後 期					
担当教員		科目区分		専 門		授業方法		演習		履修分類		必修		単位数		2	
学習目的		歯科診療補助を実施するために、基本的な知識・技術および態度を修得する。															
授業内容		歯科診療で頻用される材料や器具の取り扱いについて実習する。項目によって異なりますが、模型を使用しての実習や相互実習を数回ずつ行い、技															
学習目標		歯科衛生士として、診療補助業務に対応できるように技術及び患者への対応を修得する。															
使用テキスト																	
週数		授業計画															
1		暫間被覆冠作製1(直接法)															
2		セメント練和 (用途別①仮封用、②覆髄用)～受渡															
3		バキューム操作復習(相互)															
4		印象採得1 水平位操作(全顎)															
5		印象採得2(寒天印象採得)															
6		ラバーダム防湿操作															
7		口腔咽頭吸引															
8		口腔咽頭吸引															
9		WAX・金属・セラミックス															
10		ホワイトニング															
11		ホワイトニング															
12		実習															
13		実習															
14		まとめ															
15		まとめ															
		評価項目/割合				評 価 内 容											
評 価 基 準		1. 課 題		20	%	①宿題、課題の期限内提出 ②配布プリントや資料の整理整頓状況											
		2. 授業姿勢		30	%	①規律ある立礼、学習態度(私語、居眠り禁止) ②積極的な学習参加(発言や質問)状況 ③授業準備状況(必要器具等の準備)											
		3. テストその他		50	%												
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。															
目標検定・課外授業実施予定・その他																	

歯科衛生士		学科	3年課程				1	年
科 目 名	臨地実習ⅠA							後
担当教員			専門		実習・実技		必修	1
学習目的	見学を通し、歯科医療サービスの特徴や歯科衛生士の業務を理解し、将来の歯科衛生士像を明確にする。							
授業内容								
学習目標	①見学に見合う態度と心構えを身につける。②受付から処置、退社までの歯科医療の概要を学ぶ。③歯科衛生士としての専門職を見学し、歯科医療							
使用テキスト								
週数	授業計画							
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる							
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
	評価項目/割合		評 価 内 容					
評 価 基 準	1. 課 題	70 %	実習先からの評価を元に算出					
	2. 授業姿勢	30 %	出席率等から算出					
	3. テストその他	0 %						
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。							
目標検定・課外授業実施予定・その他								

歯科衛生士			学科		3年課程			2		年		
科 目 名		臨地実習							学期	前	期	
担当教員			科目区分	専門	授業方法	実習・実技	履修分類	必修	単位数	5		
学習目的		1年次に学んだ基礎実習及び臨床歯科医学を座学と平行して臨床現場で学びながら、歯科治療全体の流れを理解する。										
授業内容												
学習目標		(1)診療の介助及び補助を学ぶ。(2)環境、器材、材料等の整備ができる習慣を身につける。(3)目標を達成するために、学習習慣を身につける。										
使用テキスト												
週数	授業計画											
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる。											
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
		評価項目/割合			評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題	70	%	実習先からの評価を元に算出								
	2. 授業姿勢	30	%	出席率等から算出								
	3. テストその他	0	%									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士			学科		3年課程			2		年	
科 目 名		臨地実習							学期	後	期
担当教員		科目区分		専門	授業方法	実習・実技	履修分類	必修	単位数	3	
学習目的		1年次に学んだ基礎実習及び臨床歯科医学を座学と平行して臨床現場で学びながら、歯科治療全体の流れを理解する。									
授業内容											
学習目標		(1)診療の介助及び補助を学ぶ。(2)環境、器材、材料等の整備ができる習慣を身につける。(3)目標を達成するために、学習習慣を身につける。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる。										
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
		評価項目/割合			評 価 内 容						
評価基準		1. 課 題		70 %	実習先からの評価を元に算出						
		2. 授業姿勢		30 %	出席率等から算出						
		3. テストその他		0 %							
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士				学科		3年課程				3		年	
科 目 名		臨地実習								学期	前	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	実習・実技	履修分類	必修	単位数	8		
学習目的		・これまでに履修した臨床歯科医学の知識及び技術の各論を確実なものとする。・歯科衛生士の担う役割を理解し、歯科診療、専門的口腔ケアを通じ											
授業内容													
学習目標		(1)医療職としての基本姿勢を身につける。(2)学院内で修得した知識、技術を実践できる能力を身につける。(3)予防処置・保健指導を実施するた											
使用テキスト													
週数	授業計画												
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる。												
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
		評価項目/割合				評 価 内 容							
評 価 基 準		1. 課 題		70 %		実習先からの評価を元に算出							
		2. 授業姿勢		30 %		出席率等から算出							
		3. テストその他		0 %									
		課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士				学科		3年課程				3		年	
科 目 名		臨地実習								学期	後	期	
担当教員				科目区分	専門	授業方法	実習・実技	履修分類	必修	単位数	3		
学習目的		・これまでに履修した臨床歯科医学の知識及び技術の各論を確実なものとする。・歯科衛生士の担う役割を理解し、歯科診療、専門的口腔ケアを通じ											
授業内容													
学習目標		(1)医療職としての基本姿勢を身につける。(2)学院内で修得した知識、技術を実践できる能力を身につける。(3)予防処置・保健指導を実施するた											
使用テキスト													
週数	授業計画												
1	実習現場にて個々のスケジュールに合わせる。												
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
		評価項目/割合				評 価 内 容							
評価基準	1. 課 題	70 %		実習先からの評価を元に算出									
	2. 授業姿勢	30 %		出席率等から算出									
	3. テストその他	0 %											
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。												
目標検定・課外授業実施予定・その他													

歯科衛生士 学科				3年課程				3		年
科目名	国家試験対策ⅢA							学期	前	期
担当教員		科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	5	
学習目的	歯科衛生士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。									
授業内容	国家試験に向けて過去問題、および模試等を通して国家試験対策を行う。									
学習目標	過去問題集や模擬試験から新たな知識を得て、受験への意識を高め歯科衛生士試験に合格する。									
使用テキスト										
週数	授業計画									
1	模擬問題									
2	模擬問題									
3	模擬問題									
4	模擬問題									
5	模擬問題									
6	模擬問題									
7	模擬問題									
8	模擬問題									
9	模擬問題									
10	模擬問題									
11	模擬問題									
12	模擬問題									
13	模擬問題									
14	模擬問題									
15	模擬問題									
	評価項目/割合			評価内容						
評価基準	1. 課題		%							
	2. 授業姿勢	30	%							
	3. テストその他	70	%							
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。									
目標検定・課外授業実施予定・その他										

歯科衛生士			学科		3年課程			3		年	
科 目 名		国家試験対策ⅢB							学期	後	期
担当教員			科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	5	
学習目的		歯科衛生士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。									
授業内容		国家試験に向けて過去問題、および模試等を通して国家試験対策を行う。									
学習目標		過去問題集や模擬試験から新たな知識を得て、受験への意識を高め歯科衛生士試験に合格する。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	模擬問題										
2	模擬問題										
3	模擬問題										
4	模擬問題										
5	模擬問題										
6	模擬問題										
7	模擬問題										
8	模擬問題										
9	模擬問題										
10	模擬問題										
11	模擬問題										
12	模擬問題										
13	模擬問題										
14	模擬問題										
15	模擬問題										
評価項目/割合			評 価 内 容								
評価基準	1. 課 題		%								
	2. 授業姿勢	30	%								
	3. テストその他	70	%								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科		3年課程			3		年	
科 目 名		国家試験対策ⅢC						学期	後	期	
担当教員			科目区分	専門	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	5	
学習目的		歯科衛生士試験合格のための演習問題を実施し、受験態勢の万全を期する。									
授業内容		国家試験に向けて過去問題、および模試等を通して国家試験対策を行う。									
学習目標		過去問題集や模擬試験から新たな知識を得て、受験への意識を高め歯科衛生士試験に合格する。									
使用テキスト											
週数	授業計画										
1	模擬問題										
2	模擬問題										
3	模擬問題										
4	模擬問題										
5	模擬問題										
6	模擬問題										
7	模擬問題										
8	模擬問題										
9	模擬問題										
10	模擬問題										
11	模擬問題										
12	模擬問題										
13	模擬問題										
14	模擬問題										
15	模擬問題										
		評価項目/割合			評 価 内 容						
評価基準	1. 課 題		%								
	2. 授業姿勢	30	%								
	3. テストその他	70	%								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科		3年課程			1		年	
科 目 名		就職支援ⅠA							学期	前	期
担当教員			科目区分	一般	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。									
授業内容		就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。									
学習目標		就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。									
使用テキスト		Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画										
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る										
2	インターンシップの振り返り										
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
4	業界・職業研究										
5	企業研究										
6	自己分析講座										
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座										
8	履歴書作成の実践①										
9	履歴書作成の実践②										
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)										
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断										
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について										
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)										
14	面接対策講座										
15	認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
評価項目/割合			評 価 内 容								
評 価 基 準	1. 課 題		40 %								
	2. 授業姿勢		30 %								
	3. テストその他		30 %								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士				学科		3年課程			1		年	
科 目 名		就職支援ⅠB							学期	後	期	
担当教員		科目区分		一般	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1		
学習目的		就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。										
授業内容		就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。										
学習目標		就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。										
使用テキスト		Bit就職ハンドブック										
週数	授業計画											
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る											
2	インターンシップの振り返り											
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)											
4	業界・職業研究											
5	企業研究											
6	自己分析講座											
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座											
8	履歴書作成の実践①											
9	履歴書作成の実践②											
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)											
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断											
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について											
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)											
14	面接対策講座											
15	認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)											
		評価項目/割合			評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題		40 %									
	2. 授業姿勢		30 %									
	3. テストその他		30 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士			学科		3年課程			2		年	
科 目 名		就職支援ⅡA						学期	前	期	
担当教員			科目区分	一般	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。									
授業内容		就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。									
学習目標		就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。									
使用テキスト		Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画										
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る										
2	インターンシップの振り返り										
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
4	業界・職業研究										
5	企業研究										
6	自己分析講座										
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座										
8	履歴書作成の実践①										
9	履歴書作成の実践②										
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)										
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断										
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について										
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)										
14	面接対策講座										
15	認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
		評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題	40 %									
	2. 授業姿勢	30 %									
	3. テストその他	30 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士				学科		3年課程			2		年	
科 目 名		就職支援ⅡB							学期	後	期	
担当教員		科目区分		一般	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1		
学習目的		就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。										
授業内容		就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。										
学習目標		就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。										
使用テキスト		Bit就職ハンドブック										
週数	授業計画											
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る											
2	インターンシップの振り返り											
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)											
4	業界・職業研究											
5	企業研究											
6	自己分析講座											
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座											
8	履歴書作成の実践①											
9	履歴書作成の実践②											
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)											
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断											
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について											
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)											
14	面接対策講座											
15	認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)											
		評価項目/割合			評 価 内 容							
評 価 基 準	1. 課 題		40 %									
	2. 授業姿勢		30 %									
	3. テストその他		30 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。											
目標検定・課外授業実施予定・その他												

歯科衛生士			学科		3年課程			3		年	
科 目 名		就職支援ⅢA						学期	前	期	
担当教員			科目区分	一般	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。									
授業内容		就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。									
学習目標		就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。									
使用テキスト		Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画										
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る										
2	インターンシップの振り返り										
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
4	業界・職業研究										
5	企業研究										
6	自己分析講座										
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座										
8	履歴書作成の実践①										
9	履歴書作成の実践②										
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)										
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断										
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について										
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)										
14	面接対策講座										
15	認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
		評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題	40 %									
	2. 授業姿勢	30 %									
	3. テストその他	30 %									
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											

歯科衛生士			学科		3年課程			3		年	
科 目 名		就職支援ⅢB							学期	後	期
担当教員			科目区分	一般	授業方法	演習	履修分類	必修	単位数	1	
学習目的		就職活動や仕事を行っていく上で知っておくべきルールやマナーを理解し、習得する。									
授業内容		就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。									
学習目標		就職活動に直結する履歴書作成や模擬面接等を通して自己表現力、コミュニケーション力を身につける。									
使用テキスト		Bit就職ハンドブック									
週数	授業計画										
1	【オリエンテーション】 昨年度の実績、就職活動の流れ、社会の状況、心構えなどについて知る										
2	インターンシップの振り返り										
3	非認知能力の振り返り②(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
4	業界・職業研究										
5	企業研究										
6	自己分析講座										
7	履歴書・エントリーシートの書き方講座										
8	履歴書作成の実践①										
9	履歴書作成の実践②										
10	採用試験について(書類選考、面接、作文、適性検査能力試験、作品やポートフォリオ提出など)										
11	適性検査能力試験 模擬受験、Web性格診断										
12	今後の就活に向けて 就職活動の報告書の提出や活用方法、各種証明書の発行、求人マッチングシステム「UMP」活用について										
13	就活キックオフセミナー「働く意義や人生をかけて成長させたいことについて考える」「就職活動の流れと準備を理解する」(外部講師)										
14	面接対策講座										
15	認知能力の振り返り自己分析③(学修到達度自己評価ヒアリングシート)										
		評価項目/割合			評 価 内 容						
評 価 基 準	1. 課 題		40 %								
	2. 授業姿勢		30 %								
	3. テストその他		30 %								
	課題・テスト(その他検定など)はそれぞれ20%以上とし、授業姿勢は30%とする。										
目標検定・課外授業実施予定・その他											